家の中で火災発生！
さぁ、あなたならどうする？

みなさんは、火事や地震があっても冷静に自分だけは対応できると思っていませんか？ちょっと、頭の中で想像してみてください。

「万が一目の前で火災が発生したとき、あなたならどうしますか？」と質問すれば、『消火器を持ってきて消します』と言う優等生な人ほど怪しいものはないですね。

さて、あなたはどこで火災が発生したと想定しましたか？そして、あなたはどの場所に居たと想定したのですか？あげあしをとるような質問で申し訳なかったですが、それらもすべて想定訓練の中のひとつなのです。大抵の人は『てんぷら火災』または『たばこの火』などではなかったかと思います。

●出火原因別に見た火災発生状況ワースト１０（平成８年総務省消防庁調べ）は以下の通りです。

１位	タバコ	11.1%
２位	放火	10.4%
３位	こんろ	9.2%
４位	たき火	9.0%
５位	放火の疑い	8.3%
６位	火あそび	4.1%
７位	ストーブ	3.1%
８位	火入れ	2.7%
９位	電灯･電話等の配線	2.0%
１０位	マッチ・ライター	1.7%

自分が食事の支度やたばこの火の不始末により誤って失火してしまった場合などは、目の前の小さな炎なら『初期消火』もできるでしょうが、時間が少し経ってからの大きな炎の場合、『消火器だ！』とすぐに思いつくでしょうか？また消火器はどこに置いてあるのですか、自宅の中にありますか？外にある場合は、炎を越えて取りに行くことが可能でしょうか？そう考えれば、一家に１本消火器常備ですよね。

重要なお知らせです！

『**このくらいの火なら自分で消せるだろう**』と思うことが危険のはじまりです。

「火災が発生したら、落ち着いてまず初期消火」と決まりきったことを言っている場合ではありません。実際はそう冷静に行動できないでしょう。決まりきったマニュアルよりも、いざというときに実践に役立つ優先順位を決めておきましょう。

まず、出火したら

１．知らせる
２．消す
３．助ける
４．逃げる（逃がす）

火が出たらまずは「火事だ！」と、少しでも多くの人たちに知らせることを優先してください。この『知らせる』の中に、通報、応援依頼、避難などのすべてが含まれているのです。タバコの不始末で布団などに火がついてしまったとき、「大変だ！でも、このくらいなら自分ひとりで消せるだろう」と思う人は多いでしょう。ところが火を叩いて消そうとしているうちに煙に巻かれてしまい、他人まで巻き添えにしてしまう恐れがあります。

とにかく何かトラブルが発生したら『知らせる』からはじめることが大切です。これは防災・危機管理に共通する優先順位です。平常時からトラブルやリスクとの距離感、緊急時の優先行動を明確にしておくことが、突然差し迫るダメージを最小限に抑えるための第一歩です。

火災保険に入り火災の後のダメージを少しでも減らすことも大切ですが、大切な人の命や大切なものを『灰』にしてしまわないために、最低限、消火器や寝室には煙感知器を設置しておきましょう。また、消防訓練や防災訓練、そしてなにより地域コミュニティ活動にも参加して、もしもの時に備えておきましょう。

「自分は忙しい」と自分に対して甘えた逃げ口上で、自分の大切なものや自分の大切な人を失ってから、「あの時やっておけば良かった」と悔やんでもあとの祭りです。そうならないために『あなたにできること』を探してみんなで一緒に備えましょう！

〈山村武彦先生の『人は「自分だけ死なない」と思っている』より引用させていただきました。〉

のど元過ぎれば、なんとやら？とならぬ為に･･･

新型インフルエンザの感染がピークを過ぎたかのように見えています。あれだけ騒いだ「マスク軍団」もどこかに行ってしまったようです。忘れていけないのは何度もインフルエンザは津波のように襲ってきます。その時に慌てないために日頃から「手洗い」「うがい」を習慣づけ、感染防止を心掛けましょう。また、マスクもある程度は落ち着いた夏の時期に買いそろえておくと良いでしょうね。今年の冬のインフルエンザ対策が「生活防災」につながるのです。